

竹の
利用

森林部会主催 平成28年度 「竹林整備研修会 第1回」

5月29日(日)、9:30～15:30、曇り時々晴れ

場所:南足柄市県立21世紀の森(マダケ展示林)

参加者(研修者): 20名(講師、幹事は含まず)

講師: 森林部会 1班:佐藤武晴氏⑤ 2班:足立功氏④ 3班:富樫文衛氏⑥

幹事: スタッフ:小野幸広氏⑧ 有坂宗二氏⑧ /部会長:滝澤洋子氏⑤

●研修目的: 竹林整備をインストラクターとして指導する上での要点、安全への配慮、及び指導者としての基本的技術の会得・習熟を目的とし、また指導方法を共有化し、バラツキがないようにすることを目的とする。合わせて基本となる会のマニュアルを理解したうえで、各現場での整備方法に沿った指導ができるようにする。

●研修スケジュール: 9:30～9:40 オリエンテーション 9:40～10:00 講義 10:00～12:00 実習
12:00～12:30 昼食(現場にて) 12:30～14:30 実習
14:30～15:30 広場へ移動・道具清掃と返納、振り返り・意見交換・講評、解散

<感想記 山口久基 11期>

今回の研修は、指導者としての基本的技術の習得、指導方法の共有化を目的に実践的に行なわれました。作業前に森林部会で作成中の「竹林整備作業マニュアル」に基づく説明があった後、3班に分かれて作業場所のマダケ展示林に入りました。作業場所は、久しく放置された見通しの悪いタケヤブになっており、どこから手をつけていいかわからない状態でした。班リーダーから、枯れ竹・折れ竹・曲がり竹の撤去・搬出を中心に整備を行なうようこの指導があり、30分ごとに参加者がリーダーを交代して、リーダーの指示のもと作業にあたりました。竹の置き場作り、竹の撤去・搬出、バカ棒(2m)を作った竹の玉切り、枝払い等、密度の濃い研修となりました。作業を通して、丁寧にやる枝払いの大変なこと、作業の効率を考えての人員配置の重要性を再認識しました。作業後は、見通しの利く竹林となって、インストラクターらしい整備が出来た満足感を持って研修を終えました。講師、スタッフの皆様、有難うございました。

オリエンテーション&テキスト説明



まずは径路沿いから実習開始

作業が進むにつれ径路は
少しすっきりしてきた

(写真/写真キャプション)ベースは滝澤氏⑤

作業が進むと光が入ってきた



終了後現場を前に意見交換

倒れた竹は処理できたが、
伐るべき竹はまだ沢山ある